

キャリアラダー表(2024年2月改訂)

習得する分野	一般目標(GIO)	行動目標(SBO)				方略	評価	
		レベルⅠ(1年目)	レベルⅡ(2年目以上)	レベルⅢ(6年目以上)	レベルⅣ(10年目以上)			レベルⅤ(20年目以上)
組織的役割遂行能力	赤十字職員として行動するために、赤十字精神について理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	赤十字の歴史、理念、組織、活動について理解する。 赤十字社職員倫理規程を理解し、規定に基づいた行動ができる。 病院の理念、基本方針を理解する。 薬剤師の理念、目標を理解する。	赤十字の歴史、理念、組織、活動について理解し、赤十字精神に則った活動ができる。 日本赤十字社員倫理規程を理解し、規定に基づいた行動ができる。 病院の理念、基本方針を理解しそれに沿った活動ができる。 薬剤師の理念、目標を理解し、目標達成に向けて取り組むことができる。 各種委員会と委員として活動できる。	赤十字の歴史、理念、組織、活動について理解し、赤十字精神に則った活動を実施できる。 日本赤十字社員倫理規程を理解し、規定に基づいた行動ができる。 病院の理念、基本方針を理解しそれに沿った活動ができる。 薬剤師の理念、目標を理解し、目標達成に向けて貢献することができる。 各種委員会を把握し委員として活動できる。	赤十字の歴史、理念、組織、活動について理解し、赤十字精神に則った活動を実施できる。 日本赤十字社員倫理規程を理解し、規定に基づいた行動をとれるよう理解する。 病院の理念、基本方針を理解しそれに沿った活動ができるよう後輩を支援する。 薬剤師の目標達成に向けて貢献し、後輩の士気を高める業務を遂行できる。 各種委員会に關し、積極的な活動ができる。	赤十字の歴史、理念、組織、活動について理解し、赤十字精神に則った部門運営を実施する。 日本赤十字社員倫理規程に沿って行動できる環境を整えることができる。 病院の理念、基本方針を理解しそれに沿った薬剤師の活動を企画運営できる。 薬剤師内の業務内容を把握し、目標を達成できるよう課題を共有し速やかに改善できる。 各種委員会に關し、問題点を提起し委員会運営に積極的に関わることができる。	入職研修(レベルⅠ) 病院の理念、基本方針 薬剤師の理念	キャリアラダー評価表(業務到達度評価表) 勤務評定制度(勤務評定表)
業務実践能力	患者にとって最適な薬物療法を提供するために、必要な知識・技術・姿勢を習得する。	処方箋内容を理解し調剤業務、調製業務を行うことができる。 業務手順を理解し安全・確実に業務ができる。 問題解決のための情報収集ができ、上司や同僚に相談することができる。 指導・助言を基に自主的に行動できる。 必要に応じて上司へ報告・連絡・相談を行うことができる。 夜勤、時間外業務が円滑に行うことができる。	効率的な業務運営を常に心がけ、実践できる。 高度な知識・技術を持ち、エキスパートとして実践できる。 科学的根拠に基づいたモニタリング・評価ができる。 指導・助言を基に自主的に行動できる。 後輩に薬剤業務の指導ができる。 必要に応じて上司へ報告・連絡・相談を行う。 夜勤、時間外業務が円滑に行えるよう課題を提起できる。 夜勤、時間外業務が円滑に行える。	効率的な業務運営を常に心がけ、実践できる。 高度な知識・技術を持ち、エキスパートとして実践できる。 科学的根拠に基づいたモニタリング・評価・提案ができる。 業務改善に主体的に取り組むことができる。 必要に応じて上司へ報告・連絡・相談を行う。 夜勤、時間外業務が円滑に行えるよう課題を提起できる。 常に業務の進捗状況を把握し速やかに上司に報告できる。	効率的な業務運営を常に心がけ、実践できる。 高度な知識・技術を持ち、エキスパートとして実践できる。 科学的根拠に基づいたモニタリング・評価・提案ができる。 業務課題を発見・分析し、業務改善を意欲的・主体的に提案でき、実践できる。 常に業務の進捗状況を把握し速やかに上司に報告できる。	効率的な業務運営を常に心がけ、実践できる。 高度な知識・技術を持ち、エキスパートとして実践できる。 科学的根拠に基づいた業務目標の設定、実行ができる。 日常業務の進捗を把握し、業務改善を意欲的・主体的に提案でき、実践できる。 夜勤、時間外業務が円滑に行えるよう課題を把握し業務改善に取り組むことができる。	新人教育プログラム 薬剤師業務マニュアル 病院運用マニュアル	キャリアラダー評価表(業務到達度評価表) 勤務評定制度(勤務評定表)
チーム医療	医療の質向上のために、各職種の役割とチーム医療の重要性を理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	各チーム医療とその役割について理解する。 各チーム医療の研修会に参加する。	各医療チームの一員として活動できる。 各チーム医療の場合には各医療チームメンバーに相談できる。 各チーム医療の研修会に参加する。	院内各医療チームの業務内容について理解し、支援できる。 チーム医療を円滑に行うための方法を提案できる。 各チーム医療の研修会の企画に関わる。	チーム医療で活躍できる薬剤師の配置のために調整・決定できる。 チーム医療を円滑に行える環境を整える。 各チーム医療の研修会の企画運営を支援する。 各チーム医療の研修会による個人情報保護規程を理解し、規定に基づいた行動をとれる。 医療人としての自覚と責任ある行動ができる。 個人情報・プライバシーの保護、守秘義務を遵守する。 職場のルール・マナーを守ることができる。	院内研修会参加、実施 院内勉強会参加、実施 院外研修会参加、実施	キャリアラダー評価表(業務到達度評価表) 勤務評定制度(勤務評定表) 研修会参加証明書	
倫理的判断能力	患者さんの権利と意思を尊重した医療の提供について理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	日本赤十字社の保有する個人情報保護規程を理解し、規定に基づいた行動がとれる。 医療人としての自覚と責任ある行動ができる。 個人情報・プライバシーの保護、守秘義務を遵守する。 職場のルール・マナーを守ることができる。	日本赤十字社の保有する個人情報保護規程を理解し、規定に基づいた行動がとれる。 医療人としての自覚と責任ある行動ができる。 個人情報・プライバシーの保護、守秘義務を遵守する。 職場のルール・マナーを守ることができる。	日本赤十字社の保有する個人情報保護規程を理解し、規定に基づいた行動がとれる。 医療人としての自覚と責任ある行動ができる。 個人情報・プライバシーの保護、守秘義務を遵守する。 倫理的問題に気づき、問題提起ができる。 職場のルール・マナーを守ることができる。	日本赤十字社の保有する個人情報保護規程を理解し、規定に基づいた自覚と責任ある行動ができる。 個人情報・プライバシーの保護、守秘義務を遵守する。 倫理的問題に気づき、問題提起ができる。 職場のルール・マナーの維持に努める。 倫理上厳しく自己管理を行うことができる。 インシデント・アクシデント発生時に問題点を把握し他部門との対応について支援・指導ができる。	院内職業倫理指針 院内臨床倫理指針	キャリアラダー評価表(業務到達度評価表) 勤務評定制度(勤務評定表)	
医療安全	安全な薬物療法を提供するために、その必要性と重要性を理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	インシデント・アクシデント発生時の必要性を理解し的確に報告できる。 薬剤師内の過誤防止のための対策を理解し、その上で事故防止対策を講ずることができる。 日常業務の問題点を抽出できる。 院内医療安全関連の研修会に参加する。	事故防止マニュアルに従って業務を実施できる。 日常業務のリスクや問題点を把握し、改善のための提案ができる。 院内医療安全関連の研修会に参加する。	事故防止マニュアルに従って業務を実施できる。 日常業務のリスクや問題点を把握し、改善のための提案ができる。 院内医療安全関連の研修会に参加する。	事故防止マニュアルを実施・指導できる。 日常業務のリスクや問題点を把握し、改善のための提案ができる。 院内医療安全関連の研修会の企画に関わる。	医療安全管理マニュアル 薬剤師の安全使用のための業務手順書 院内医療安全研修会参加 医療安全ハンドブック 院内医療安全対策ミーティングの実施	キャリアラダー評価表(業務到達度評価表) 勤務評定制度(勤務評定表) 研修会参加証明書	
コミュニケーション能力	良好な人間関係を築くためにコミュニケーション能力の重要性を理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	上司や先輩の意見を理解することができる。 医療人としての自覚と責任ある行動がとれる。 協働作業をチームメンバーで実施できる。 スタッフや上司、他部署の職員とコミュニケーションがとれる。	リーダーシップを理解する。 フォローアップを理解し、実践する。 部署のメンバーの役割や状況を理解し、協力し合える。 他部署の役割を理解し、協力することができる。 必要な情報をチーム内で共有できる。 患者とのコミュニケーションから問題点を抽出できる。 患者とのコミュニケーションに対する適切な行動ができる。	リーダーシップを発揮する。 フォローアップを支援する。 薬剤師内の調整を支援できる。 他部署との調整を支援できる。 必要な情報をチーム内で共有し発展できる。 患者とのコミュニケーションから問題点を抽出できる。 患者とのコミュニケーションに対して適切な行動ができる。	上司と部下との調整役として相互にコミュニケーションがとれる。 他部署との対応について支援・指導ができる。 薬剤師スタッフをエンパワーメントできるコミュニケーションがとれる。 ハラメントに対する相談や適切な指導ができる。	コミュニケーション能力向上のための研修会参加 ハラメントに対する研修会参加	キャリアラダー評価表(業務到達度評価表) 勤務評定制度(勤務評定表) 研修会参加証明書	
接遇	患者さんら及び関係者の満足度を高めるために接遇の重要性を理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	社会人としてのマナーを身に着け、患者やスタッフに対応できる。 患者を尊重した接遇ができる。 挨拶、適切な言葉使いができる。 身だしなみに配慮できる。	社会人としてのマナーを身に着け、患者やスタッフに対応できる。 患者を尊重した接遇ができる。 挨拶、適切な言葉使いができる。 身だしなみに配慮できる。	社会人としてのマナーを身に着け、患者やスタッフに対応できる。 患者を尊重した接遇ができる。 挨拶、適切な言葉使いができる。 身だしなみに配慮できる。	薬剤師内部の接遇に関する問題点を把握でき、改善策を提案できる。	薬剤師員に対して接遇について指導できる。	院内接遇研修会参加 身だしなみチェック 研修会参加証明書	
教育(人材育成)	医療の質向上のために、教育(人材育成)の必要性と重要性を理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	各種マニュアルを熟読し理解できる。 助言を受けながら自己の学習課題を明確にし、目標設定ができる。 院内外の研修会に積極的に参加できる。 自己学習課題の成果を発表できる。	各種学会、研修会、講習会などに参加し専門性を高めることができる。 自己の課題学習を明確にし、目標を達成できる。 認定や専門薬剤師などの資格取得のための計画を立てる。 学会や研修会で発表できる。 院内外の研修会に積極的に参加できる。 学会や研修会で発表できる。	各種学会、研修会、講習会などに参加し専門性を高めることができる。 自己の課題学習を明確にし、目標を達成できる。 認定や専門薬剤師などの資格取得できる。 学会や研修会で発表できる。 院内外の研修会に積極的に参加できる。 論文発表を支援できる。	薬剤師の教育計画を作成し、指導・評価できる。 チーム医療で活躍できる薬剤師を育成できる。 認定や専門薬剤師などの資格取得の計画・支援ができる。 学会や研修会で発表でき、後輩の発表の支援ができる。 自分が講師となり研究発表などを開催し教育できる。 論文発表や学会発表への助言・指導ができる。	学術講演会参加 学術講演会開催 学会発表 論文執筆	キャリアラダー評価表(業務到達度評価表) 勤務評定制度(勤務評定表) 研修会参加証明書 業績報告	
マネジメント能力	目標達成のために論理的な計画の立案の必要性を理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	業務上の報告・連絡・相談を助言を受けながら適切に行うことができる。 日常業務に必要な基本的知識を活用し、助言を受けながら、優先度を決定することができる。 使用機器や物品の準備・整頓・清掃ができる。 緊急時の対応を理解し、指示の下、後輩に指導できる。	部署の活性化を図るための中心的役割を果たせる。 薬剤師内のマニュアルの作成・検証ができる。 部内の問題解決のために解決策を提案できる。 薬剤師内部での勉強会等の企画を積極的に行うことができる。 使用機器や物品の状況を把握し、準備・整頓・清掃を指導できる。 緊急時の対応を理解し、指示の下、後輩に指導できる。 医療経済的な観点から業務を支援できる。	スタッフと上司の調整役として、部署の活性化を図るための中心的役割を果たせる。 上司の下、適切なマニュアル変更を行う。 後輩を適切に指導し必要な時は注意することができる。 部内(部下)の実績を把握し、公平に評価できる。 緊急時に関連部署への報告・指示を円滑に行う。 病院経営を意図して、企画立案・実行できる。	業務量を考慮して、薬剤師業務の展開を計画・立案・実施できる。 問題解決への取り組みを支援・指導できる。 業務ローテーションの作成・調整ができる。 部下(部下)の実績を把握し、公平に評価できる。 緊急時に関連部署への報告・指示を円滑に行う。 病院経営を意図して、企画立案・実行できる。	各種マニュアル 各種研修会等への参加 目標管理シート	キャリアラダー評価表(業務到達度評価表) 勤務評定制度(勤務評定表) 研修会参加証明書	
災害医療	災害発生時に日本赤十字社員として活動するために、災害医療を理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	災害時の薬剤師としての役割と責任を理解できる。 災害発生時に携帯する医薬品リストを知る。 災害時に必要な薬品を適切に提供する。 院内災害訓練や研修会に参加する。 救護班と一緒にトリアージ訓練に参加する。	災害時の薬剤師としての役割と責任を理解し後輩に指導できる。 災害救護に行動する際に携帯する医薬品について把握し、点検・払い出しができる。 災害救護に関する基礎知識を学習する。 災害訓練や研修会に参加する。 院内救護班の一員として活動できる。	災害時の薬剤師としての役割と責任を理解し活動できる。 災害救護に行動する際に携帯する医薬品について把握し、点検・払い出しができるよう後輩を指導できる。 災害救護に関する基礎知識を後輩に指導できる。 災害訓練や研修会に参加する。 院内救護班の一員として活動できる。	災害発生時に薬剤師部の運営ができる。 救護班・DMATの薬剤師の参加調整ができる。 災害救護訓練及び研修会参加 災害救護員を育成できる。	災害対策マニュアル トリアージカード 災害救護訓練 災害救護員養成	キャリアラダー評価表(業務到達度評価表) 勤務評定制度(勤務評定表) 研修会参加証明書	
救急医療	地域の中核病院(高度救命救急センター)として求められた救急医療の重要性を理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	救急医療の研修会に参加する。 1次救急処置ができる。 救急で使用される医薬品について学習する。	救急医療の研修会に参加する。 救急処置ができる。 バイタルサインの知識を後輩に指導できる。 救急で使用される医薬品について理解できている。	救急医療の研修会に参加する。 救急処置ができる。 バイタルサインの知識を後輩に指導できる。 救急で使用される医薬品を管理できる。	救急医療に対する薬剤師の運営ができる。 救急部門で活躍できる薬剤師が育成できる。	各種マニュアル 各種研修会等への参加 初期臨床研修医ハンドブック 救急外マニュアル	キャリアラダー評価表(業務到達度評価表) 勤務評定制度(勤務評定表)	
地域医療	地域住民の保健・医療・福祉の向上のために、地域連携の必要性と重要性を理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	院内だけでなく、地域の医療施設や保険薬局との連携の必要性を理解し、説明できる。 地域医療施設や保険薬局の研修会に積極的に参加する。 地域医療機関等の研修会に参加する。	地域の医療施設や保険薬局に対して、必要な情報を提供したり、収集することができる。 地域医療施設や保険薬局の研修会に積極的に参加する。 地域医療機関等の研修会を提案したり発表することができる。	地域の医療施設や保険薬局に対して、必要な情報を提供したり、収集することができる。 地域医療施設や保険薬局の研修会に積極的に参加する。 地域医療機関等の研修会を提案したり発表することができる。	地域の医療施設や保険薬局と協力して勉強会などを企画開催し、連携を推進することができる。	薬剤師会、病院薬剤師会との合同研修会 保険薬局からの履修照会 薬業連携研修会	キャリアラダー評価表(業務到達度評価表) 勤務評定制度(勤務評定表) 研修会参加証明書	
到達目標	薬剤師としての基本的知識・技術・姿勢を習得し、安全確実な業務を実施できる。自分の役割と責任を認識し、自分の能力を超えて業務を求められたときには支援や指示を仰ぎ、業務内容をめいめい相談できる。社会人としてのマナーを身に着け、行動できる。	レベルⅠ(1年目)	レベルⅡ(2年目以上)	レベルⅢ(6年目以上)	レベルⅣ(10年目以上)	レベルⅤ(20年目以上)	薬剤師全体の運営にかかわり、他部署との調整、支援を行う。病院の方針に基づいて業務目標を定め、目標達成に向けて行動・指導・指示できる。	